法政大学国際高等学校

アドミッションポリシー

2026

アドミッションポリシー

本校はミッションステートメントにある「学び」を、グローバル探究コースと IB(国際バカロレア・デュアルランゲージ・デュプロマプログラム)コースの 2 つの教育課程で展開し、「世界のどこにあっても生き抜く実践知」を備えた「地球市民」を育成する。

具体的には、次の「学びの力」の獲得を目指し、多様な価値観を受け入れた「学び」の中で、国際的な視野を持ち、相互に人格を深く尊重することができる「個」の確立を目指す。

・社会課題の解決に貢献し、未知の領域に踏み込んでこれを明らかにしようとする力
・みずから問題を見いだし、取り組むべき課題として設定する力
・正しく情報を管理し、論理的に組み立て、検証・推考する力
・異なる立場や意見とも対話を通して協働する、共に挑み続ける力
・さまざまな状況下でも「学び」から得た力を応用して、組み合わせ、実践に結びつけていく力（「実践知」）

いずれのコースも高等学校の卒業要件を満たすことができる。

教育課程

Ⅰ．グローバル探究コース

1 年次は、「Critical thinking（論理的・批判的思考力獲得の学び)」をベースに、主に高等学校の必履修科目を履修する。2・3 年次は各自の興味関心や進路希望に応じて「科目(学ぶ内容)を選択」し、自身の学びのカリキュラムを作成する。2 年次には「地球市民Ⅰ」を 2 講座、3 年次には「地球市民Ⅱ」を 1 講座選択し、「世界が抱える課題」「未知・未解決の問題」に対し、科目を横断した新たな「視点」から探究する。グローバル探究コース生は、これら 3 年間の学びの中から課題研究テーマ、リサーチクエスチョンを設定し、研究・調査・考察、作成の結果として「卒業課題エッセイ・研究・制作」を提出しなければならない。

【教育課程表】 2023年度以降入学生 G探究コース

（2023年度入学者より適用）

教育課程表（グローバル探究コース）

教科等	科目	標準単位数	単位数	学校設定科目	必履修・選択必修
国語	現代の国語	2	2		○
	言語文化	2	2		○
	論理国語	4	4		
	文学国語	4	4		
	古典探究	4	4		
	総合国語	－	2	○	
	古典総合	－	2	○	
	古典講読	－	2	○	
	日本の古典芸能	－	2	○	
地理歴史	歴史総合	2	2		○
	地理総合	2	2		○
	世界史探究	3	4		
	日本史探究	3	4		
	世界史総合	－	2	○	
	日本史総合	－	2	○	
公民	公共	2	2		○
	倫理	2	2		
	政治・経済	2	2		
	国際社会	－	2	○	
数学	数学Ⅰ	3	3		○
	数学Ⅱ	4	4		
	数学Ⅲ	3	4		
	数学A	2	2		
	数学B	2	2		
	数学C	2	2		
	数学研究Ⅰ	－	2	○	
	数学研究Ⅱ	－	2	○	
	調査研究の為の数学	－	2	○	
理科	物理基礎	2	2		○
	化学基礎	2	2		○
	生物基礎	2	2		○
	物理	4	4		
	化学	4	4		
	生物	4	4		
	物理への橋渡し	－	2	○	
	化学への橋渡し	－	2	○	
	生物への橋渡し	－	2	○	
	理科特講	－	2	○	
保健体育	体育	7～8	7		○
	保健	2	2		○
芸術	音楽Ⅰ	2	2		●
	音楽Ⅱ	2	2		
	音楽Ⅲ	2	2		
	美術Ⅰ	2	2		●
	美術Ⅱ	2	2		
	美術Ⅲ	2	2		

教科等	科目	標準単位数	単位数	学校設定科目	必履修・選択必修
外国語	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	3	4		○
	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	4	4		
	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ	4	4		
	論理・表現Ⅰ	2	2		
	論理・表現Ⅱ	2	2		
	論理・表現Ⅲ	2	2		
	ライティングⅠ	－	2	○	
	ライティングⅡ	－	2	○	
	いろいろな英文を読む	－	2	○	
	英語で学ぶ日本の文化	－	2	○	
	英語圏の言語と文化	－	2	○	
	中国語圏の言語と文化	－	2	○	
	韓国・朝鮮の言語と文化	－	2	○	
	ドイツ語圏の言語と文化	－	2	○	
	フランス語圏の言語と文化	－	2	○	
	スペイン語圏の言語と文化	－	2	○	
	イタリア語圏の言語と文化	－	2	○	
	ランゲージB HL Ⅰ	－	6	○	
	ランゲージB HL Ⅱ	－	6	○	
	ランゲージB SL Ⅰ	－	4	○	
	ランゲージB SL Ⅱ	－	4	○	
家庭	家庭基礎	2	2		○
情報	情報Ⅰ	2	2		○
	情報Ⅱ	2	2		
自由選択	選択科目	－	1～12	○	
国際	Critical thinking	－	1	○	
	高大連携	－	2	○	
	知の道筋	－	2	○	
	地球市民Ⅰa	－	1	○	○
	地球市民Ⅰb	－	1	○	○
	地球市民Ⅱ	－	2	○	○
	Project-based Learning	－	2	○	
総合的な探究の時間		3～6	3		○
ホームルーム活動		－	3		○
学校外学修		－	1～8		

(1)芸術は、「音楽Ⅰ」又は「美術Ⅰ」のうち、いずれか1科目を選択する。（●印）
(2)教科「自由選択」科目「選択科目」は2023年度より開講し、2020年度入学者より適用する。
(3)「学校外学修」は2023年度より開講し、2020年度入学者より適用する。

II. IB(国際バカロレア・デュアルランゲージ・デュプロマプログラム International Baccalaureate Dual Language Diploma Program)コース

１年次は、「Critical thinking（論理的・批判的思考力獲得の学び)」をベースに、主に高等学校の必履修科目を履修する。

本コースは、国際バカロレア(IB)の「ディプロマ」を取得するためのプログラムである「ディプロマ・プログラム(DP)」を日本語と英語のデュアルランゲージ(DL)で展開する。本校では、グループ２に設置している科目は English B のみであるため、英語のみを第一言語としている生徒の入学を認めていない。

１年間の DLDP 準備学習の後、2 年間(およそ 20 か月間)の DLDP を展開し、卒業後は国内外の高等教育機関で学ぶに十分な学力を養うことができる高度な学習課程である。

IB コースで、国の定める「高等学校課程修了証明書(卒業証書)」をもって卒業したいと望む場合は、次のことが必要となる。

中学校卒業後に第 10(高校第１)年次に入学し、DLDP 準備プログラム(DLDP に向けた準備および文部科学省の定める必履修科目を履修する課程)を履修すること。第 10(高校第１)年次においては、本校グローバル探究コースが第 11・12 年次の課程に置く文部科学省が定める必履修科目の必要な単位数の履修が必要となる。

IB コースに入学した生徒のグローバル探究コースへの変更に関しては、下の「コースの変更について」を参照のこと。グローバル探究コースに入学した生徒の IB コースへの変更に関しては、本校では、生徒から申し出が出た際に検討される（IB コースは、入学当初より DLDP の準備学習が始まっているので、非常に困難性が大きい)。

【教育課程表】 2025 年度以降入学生 IB コース

（2025年度入学者より適用）

教育課程表（ＩＢコース）

教科等	科目	標準単位数	単位数	学校設定科目	必履修・選択必修
国語	現代の国語	2	2		○
	言語文化	2	2		○
	ランゲージA HL	－	12	○	□
	ランゲージA SL	－	8	○	□
地理歴史	歴史総合	2	2		○
	地理総合	2	2		○
	ヒストリー HL	－	12	○	□
	ヒストリー SL	－	8	○	□
公民	公共	2	2		○
数学	数学Ⅰ	3	2		○
	数学A	2	2		
	マセマティックス：アナリシス・アンド・アプローチズ HL	－	12	○	□
	マセマティックス：アナリシス・アンド・アプローチズ SL	－	8	○	□
理科	物理基礎	2	2		○
	化学基礎	2	2		○
	生物基礎	2	2		○
	バイオロジー HL	－	12	○	□
	バイオロジー SL	－	8	○	□
	ケミストリー SL	－	8	○	□
	フィジックス HL	－	12	○	□
	フィジックス SL	－	8	○	□
保健体育	体育	7～8	7		○
	保健	2	2		○

教科等	科目	標準単位数	単位数	学校設定科目	必履修・選択必修
芸術	音楽Ⅰ	2	2		●┐
	美術Ⅰ	2	2		●┘
	ヴィジュアル・アーツ H	－	12	○	□
	ヴィジュアル・アーツ S	－	8	○	□
外国語	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	3	2		○
	論理・表現Ⅰ	2	2		
	ランゲージB HL	－	12	○	□
	ランゲージB SL	－	8	○	□
家庭	家庭基礎	2	2		○
情報	情報Ⅰ	2	2		○
自由選択	選択科目	－	1～8	○	
国際	Critical thinking	－	2	○	
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間	3～6	1		○
	セオリー・オブ・ナレッジ		4	○	○□
	クリエイティビティ・アクティビティ・サービス	－			□
	イクステンディド・エッセイ	－			□
ホームルーム活動		－	3		○

（1）芸術は、「音楽Ⅰ」又は「美術Ⅰ」のうちから、いずれか1科目を選択する。（●印）
（2）「ランゲージA」、「ヒストリー 」、「マセマティックス：アナリシス・アンドアプローチズ」、「バイオロジー」、「ケミストリー」、「フィジックス」、「ヴィジュアル・アーツ」、「ランゲージB」、「セオリー・オブ・ナレッジ」、「クリエイティビティ・アクティビティ・サービス」、「イクステンディド・エッセイ」については、国際バカロレア機構の定めるディプロマ・プログラムに基づいて選択する。（□印）
（3）「ランゲージA」は「日本語:文学」、「ランゲージB」は「English」

【教育課程表】 2024年度以前入学生 IBコース

教育課程表（ＩＢコース）

教科等	科目	単位数	学校設定科目	必履修・選択必修
国語	現代の国語	2		○
	言語文化	2		○
	ランゲージA HL	12	○	□
	ランゲージA SL	8	○	□
地理歴史	歴史総合	2		○
	地理総合	2		○
	ヒストリー HL	12	○	□
	ヒストリー SL	8	○	□
公民	公共	2		○
数学	数学Ⅰ	2		○
	数学A	2		
	マセマティックス：アナリシス・アンド・アプローチズ HL	12	○	□
	マセマティックス：アナリシス・アンド・アプローチズ SL	8	○	□
理科	物理基礎	2		○
	化学基礎	2		○
	生物基礎	2		○
	バイオロジー HL	12	○	□
	バイオロジー SL	8	○	□
	ケミストリー SL	8	○	□
保健体育	体育	7		○
	保健	2		○

教科等	科目	単位数	学校設定科目	必履修・選択必修
芸術	音楽Ⅰ	2		●┐
	美術Ⅰ	2		●┘
	ヴィジュアル・アーツ HL	12	○	□
	ヴィジュアル・アーツ SL	8	○	□
外国語	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	2		○
	論理・表現Ⅰ	2		
	ランゲージB HL	12	○	□
	ランゲージB SL	8	○	□
家庭	家庭基礎	2		○
情報	情報Ⅰ	2		○
自由選択	選択科目	1～8	○	
国際	Critical thinking	2	○	
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間	1		○
	セオリー・オブ・ナレッジ	4	○	○□
	クリエイティビティ・アクティビティ・サービス			□
	イクステンディド・エッセイ			□
ホームルーム活動		3		○

(1)芸術は、「音楽Ⅰ」又は「美術Ⅰ」のうちから、いずれか1科目を選択する。（●印）
(2)「ランゲージA」、「ヒストリー 」、「マセマティックス:アナリシス・アンド・アプローチズ」、「バイオロジー」、「ケミストリー」、「ヴィジュアル・アーツ」、「ランゲージB」、「セオリー・オブ・ナレッジ」、「クリエイティビティ・アクティビティ・サービス」、「イクステンディド・エッセイ」については、国際バカロレア機構の定めるディプロマ・プログラムに基づいて選択する。(□印)
(3)「ランゲージA」は「日本語:文学」、「ランゲージB」は「English」

教科 GROUP	科目	LEVEL※	授業言語
GROUP1 : Studies in Language and Literature 言語と文学	Japanese A Literature 日本語A文学	SL / HL	日本語
GROUP2 : Language Acquisition 言語の習得	English B 英語B	SL / HL	English
GROUP3 : Individuals and Societies 個人と社会	History 歴史	SL / HL	日本語
GROUP4 : Sciences 理科	Biology 生物 Chemistry 化学 Physics 物理	SL / HL SL SL / HL	日本語
GROUP5 : Mathematics 数学	Mathematics : Analysis and Approaches 数学	SL / HL	English
GROUP6 : The Arts 芸術	Visual Arts 美術 27年度以降の設置については未定	SL / HL	日本語
Core Subjects コア科目	TOK 知の理論 EE 課題論文 CAS 創造性・活動・奉仕		日本語

※SL：Standard level HL：Higher level

DLDP カリキュラム表

※、IB 認定会社である Pamoja を通して、DP 科目のオンライン学習を希望する生徒に対して、学校はこの取り組みを行えるよう事務手続き等の支援を行っている。本校の学費には、オンライン講座の受講料および関連費用は含まれていない。オンラインコースの受講に関しては、評価ポリシー、及び言語ポリシーを参照のこと。

本コースの学習内容は、３つの必修の“コア(核)”要素と ６つの学問分野(表１参照)とで構成される。IB 生は、各分野から１つの科目を履修することが求められる。ただし、芸術(美術)の代わりに２つの理科分野（化学と生物）の科目を履修することもできる。標準レベル（SL）3 科目、上級レベル（HL）3 科目をそれぞれ履修しなければならない。

また IB コースにあっては、６分野のうち２分野を日本語以外の言語で学習しなければならない。法政大学国際高等学校においては、日本語以外の言語とは英語であり、英語で学習する科目は、グループ２のランゲージ B(Higher level/ Standard level) とグループ５のマセマティックス：アナリシス・アンド・アプローチズ(Higher level/Standard Level)である。グループ１、３、４および６は、日本語で教科指導される。

単位修得と卒業要件

２つのコースとも、卒業の資格を得るには、「必履修科目」を履修し、HR の 3 年間 3 単位を除

いて 74 単位以上の修得が必要となる。このうち「学校設定科目」の修得単位として認められるのは、グローバル探究コースについては「20 単位」まで、IB コースについては「36 単位」までである。

「単位」とは週あたりの学習時間数で、年間 35 週を基準とする。「履修」とは履修登録および授業出席のことをいう。「修得」とは、履修した科目の単位を修得することである。「必履修科目」とは文部科学省が定めた卒業に必要な科目のことをいう。「学校設定科目」とは、文部科学省が設定した科目とは別に学校が設定した科目のことである。

志願手続き

法政大学国際高校の教育に興味をもった志願者とその家族は、本校ウェブサイトを参照の上、本校に問い 合わせることが望ましい。また設定される学校説明会（年間３～４回)、授業見学会（年間１回)、IB 説明 会（年間１回）に積極的に参加することで本校への理解が深められる。 法政大学国際高校は、本校が提供するカリキュラムによる学習のどのコースが入学生に有用かを特定することを図るため、グローバル探究コース、IB コースそれぞれに選抜の経路を設ける。

グローバル探究コースを志願するものには、中学までの基礎学力が定着していることが求められる。そ の上で、中学校からの調査書によって入学者を判定する入試経路、国語・数学・英語の３科目の学力を測る入試経路、論理的思考力と発想力を測る入試経路、一定期間海外在留経験を持つものの学力を測る入試経路を置く。

IB コースを志願するものには、日本語と英語の習熟の度合いならびに総合的な能力の測定のため、志願者には筆記入学試験と面接試験を受験することが求められる。志願者の入学への適性の査定時には、学術的能力に加えて下記の項目についてもそれらが慎重に検討される。

・DLDP を学びたいという意欲
・主体性、社会性、協同的姿勢
・本校の教育理念への理解
・国際的視点を持つ姿勢
・DP（国際バカロレア・ディプロマプログラム）を満たす年齢であること

入学の経路・応募資格・選考方法・出願期間・合格の発表・入学の手続き

具体的内容については、本校 HP 上の募集要項を確認のこと。
入学試験についての募集要項の URL は以下の通り。

グローバル探究コース　https://kokusai-high.ws.hosei.ac.jp/admissions/global.php

IB コース　https://kokusai-high.ws.hosei.ac.jp/admissions/ib.php

転編入試についての募集要項の URL は以下の通り。なお、１年次９月入学の転編入試はＩＢコースとグローバル探究コースで実施する場合がある。また、２年次４月入学の転編入試はグローバル探究コースで実施する場合がある。

（７月転編入試実施：１年次９月入学）：実施決定後、HP に詳細を掲載する。

（３月転編入試実施：２年次４月入学）：実施決定後、HP に詳細を掲載する。

コースの変更について

現在、本校IBコースにおいては、「体育」「HR」「総合的な学習の時間」を除く全ての必履修科目を、Pre-IB（1年次）に履修するよう授業計画が立てられている。これにより、IBコース生が、日本の高等学校の課程を修了の可能性を残しつつ、２年次以降にグローバル探究コースにコース変更することについて、本校では検討が可能である。グローバル探究コース生のIBコースへの変更も検討自体は可能だが、このコース変更においては、必履修科目の履修がほとんど見込めなくなる。つまり、２年次以降にIBコースにコース変更すると、日本の高等学校の課程の修了（いわゆる卒業）ができなくなる可能性が極めて高い。

本校では、IBコース生から希望があったとき、2年次以降の新年度からグローバル探究コースへコース変更することについて検討を行う。新年度からのコース変更を希望する生徒は、できるだけ早く担任とDPコーディネーターに連絡する必要がある。その際には、保護者・生徒・担任を含む教員・DPCの相談が必須となる。新年度からのコース変更の決断は、年度が終了する前になされる必要がある。そのような生徒の新年度からのコース変更は、あらかじめ保証されるものではなく、変更希望が承諾されない場合がある。

教育上の支援について

本校への入学を希望する受験生が学習環境及び学校生活の支援を必要とする場合、受験生とその保護者は、必要な支援の内容について前もって本校に連絡し、相談することができる。本校の対応等詳細については、スクールポリシー「教育上の支援に関するポリシー」の「教育上の支援を必要とする本校受験志願者について」の内容を参照されたい。

本方針の改訂について

本方針は、毎年改訂され、すべての志願者、学校関係者に開示される。